（枠組足場用安全部材）

おりへい幅木（折畳み方式Ｌ型幅木）

【(社)仮設工業会 幅木認定基準(2種)取得済み】
【特許出願中:出願番号 2010-278908】

取扱説明書

※当製品をご使用前に本取扱説明書を必ず読み、内容を十分理解した上でご使用ください。
※本取扱説明書は、必要なときに速やかに参照できるよう、大切に保管してください。

SNT SHINNITTAN
仮設工業会会員
株式会社シンニッタン

はじめに

この度はおりへい幅木（折畳み方式L型幅木）をご使用いただき、まことにありがとうございます。

◆ おりへい幅木は、労働災害の撲滅を願って、より安全な足場を提供するために開発された枠組足場専用機材です。

◆ 本取扱説明書は、当製品を安全に使用していただくためのご案内です。おりへい幅木をご使用される方は事前に当取扱説明書をよくお読みになった上で、正しくご使用下さいますようお願いいたします。

◆ 本取扱説明書の記載内容と異なる取り扱いを行った場合には、重大な事故に結びつくことがあります。尚、下表に示すような警告表示が記載されている箇所は、安全上特に重要な注意事項ですから、十分なご理解の上で使用されますようお願いいたします。

警告表示	警告の内容
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

◆ おりへい幅木の特長 ◆

- 現状の標準的な枠組足場に使用する建枠であれば、建枠の形状に関係なく工具なしでそのまま取付けが可能です。
- 独自のL型構造により、作業床の外側のスキマをふさぎますから、建枠幅全面を作業床に出来ます。よって、作業者の保護と同時に小物の落下を防ぎますから、より一層の安全を確保することが出来ます。
- おりへい幅木の作業床、及び、建枠への固定用金具が可動式になっているため、L型形状が一枚の板状に折畳めます。よって、持ち運びが容易にでき、また、収納時の積み重ねもコンパクトにに収納出来ます。
- おりへい幅木取付作業は、枠組足場より身を乗り出すことがなく枠組足場内にて取付・固定・解体の作業ができますからより安全に作業が行えます。
- おりへい幅木の総重量は、最も重いタイプでも6.3kgと軽量です。よって取付・解体等の作業が容易に行えます。
- おりへい幅木部材の固定はリベット方式（溶接箇所なし）のため、部分的な破損が生じた場合でも部品交換が可能となり、修理が容易に行えます。
- 表面処理は、部品を固定するリベットを除き、亜鉛メッキが施された材料を使用しているため防錆等の耐久性に優れています。

《 目 次 》

【 項 目 】 【 項 】

1-識別事項 ························ 1

2-おりへい幅木の仕様 ························ 2

(1) 全体構成図・使用方法図 ························ 2
(2) 構成部材の種類 ························ 2
(3) おりへい幅木の種類 ························ 3
(4) オプション品の種類 ························ 4

3-取付要領及び解体要領 ························ 5 ～ 13

4-使用基準 ························ 14

5-取付後の点検 ························ 14

6-警告 ························ 15

7-保管及び保守管理 ························ 15 ～ 16

8-運搬管理 ························ 16

《 目 次 》

1-識別事項

(1)製造者名
株式会社 シンニッタン

(2)製品の名称
おりへい幅木(折畳み方式L型幅木)

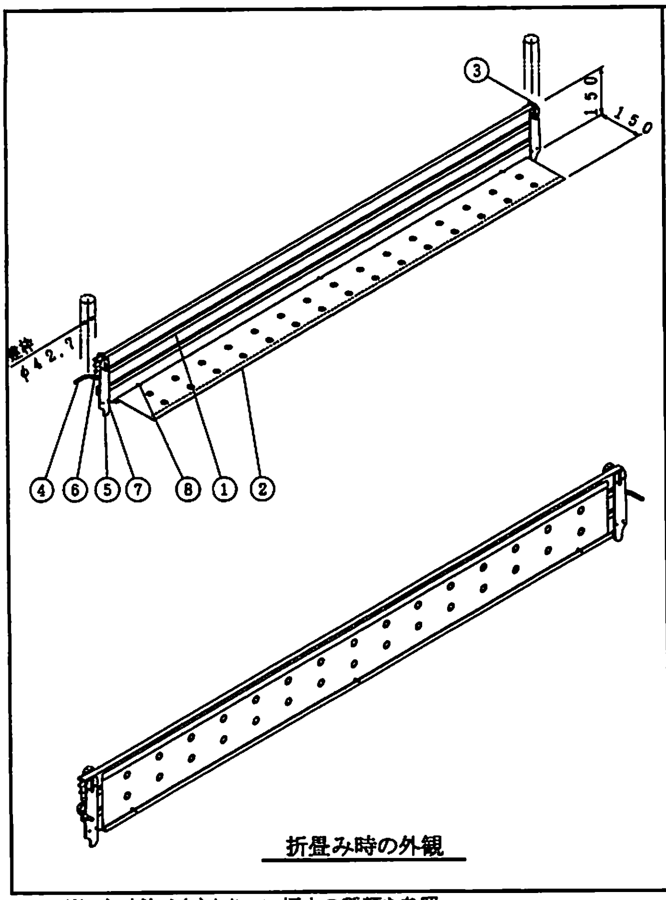
(3)製造日
平成22年6月 ～ 随時

(4)製造国
日本

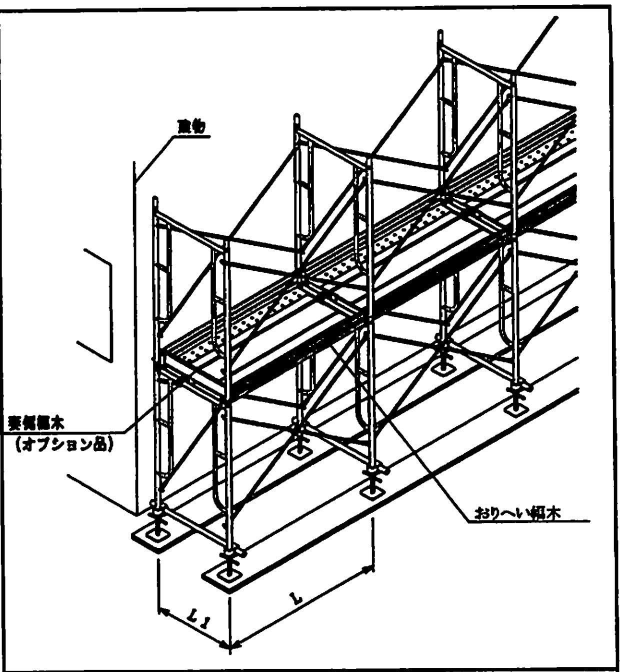
2-おりへい幅木の仕様

(1) 全体構成図・使用方法図

全体構造図



使用状態図例



インチサイズ		メーターサイズ	
L	L1	L	L1
1829	1219	1800	1200
1524	914	1500	900
1219	610	1200	600
914		900	
610		600	

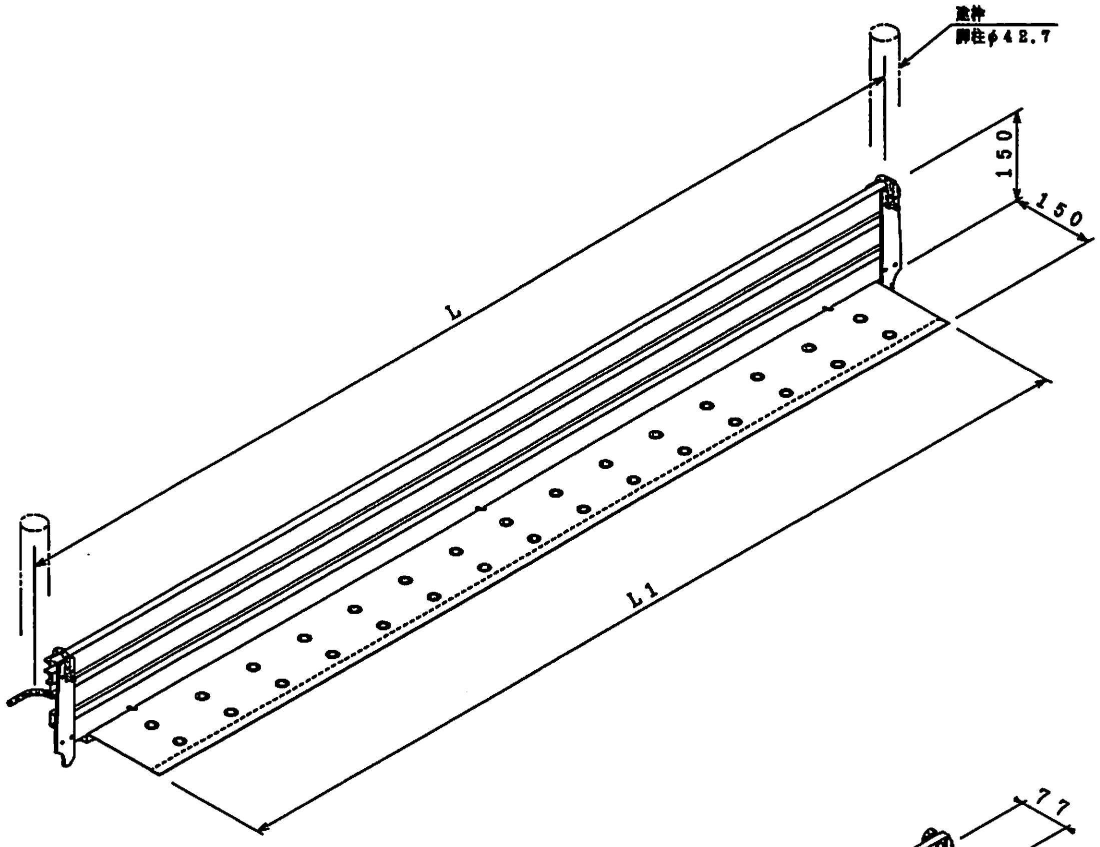
※ 主寸法は(3)おりへい幅木の種類を参照

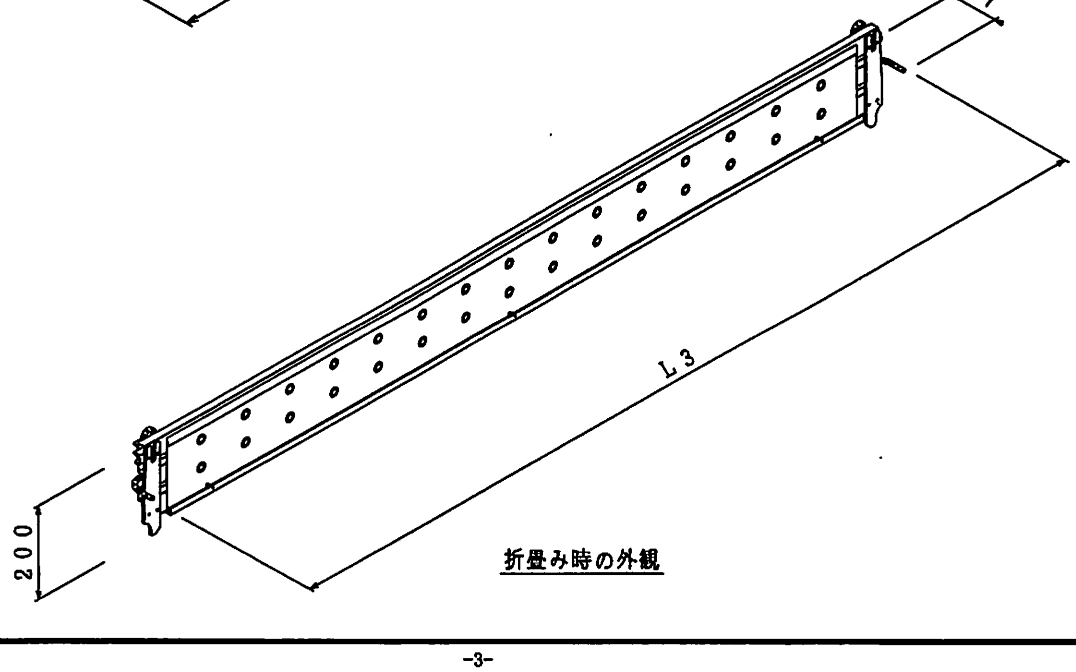
(2) 構成部材の種類

【部品番号】	【部品名称】	【部品型式】	【必要数】	【備　考】	
①	幅木本体	08-050-□□・08-051-□□	1	PL-0.8t	亜鉛メッキ鋼板
②	ふさぎ板	02-480-□□～02-484-□□	1	PL-1.0t	亜鉛メッキ鋼板
③	フックA	54-034-01	1	φ8	溶融亜鉛メッキ
④	フックB	54-034-02	1	φ8	溶融亜鉛メッキ
⑤	固定金具	00-476	2	FB4.5t×38	溶融亜鉛メッキ
⑥	回転金具	02-485	2	PL3.2t	溶融亜鉛メッキ
⑦	ブラインドリベット	J-5431	8	φ4.8	
⑧	ブラインドリベット	J-5432	3	φ4.0	

(3) おりへい幅木の種類

インチサイズ建枠用					メーターサイズ建枠用				
型　式	重量(kg)	L	L1	L3	型　式	重量(kg)	L	L1	L3
SGB 6C	6.31	1829	1697	1854	SG 6C	6.22	1800	1668	1825
SGB 5C	5.35	1524	1392	1549	SG 5C	5.28	1500	1368	1525
SGB 4C	4.39	1219	1087	1244	SG 4C	4.33	1200	1068	1225
SGB 3C	3.43	914	782	939	SG 3C	3.39	900	768	925
SGB 2C	2.47	610	478	635	SG 2C	2.44	600	468	625

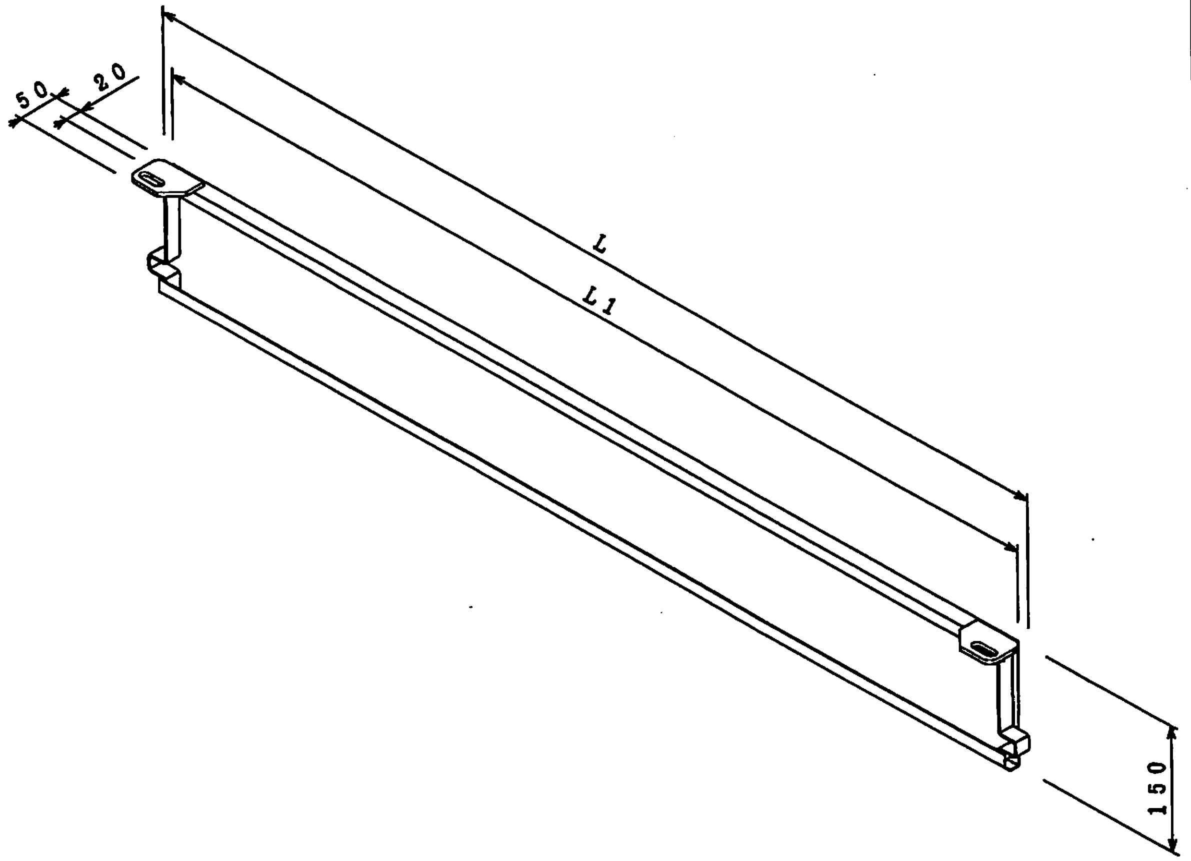




折畳み時の外観

(4)オプション品の種類・・・・妻側幅木

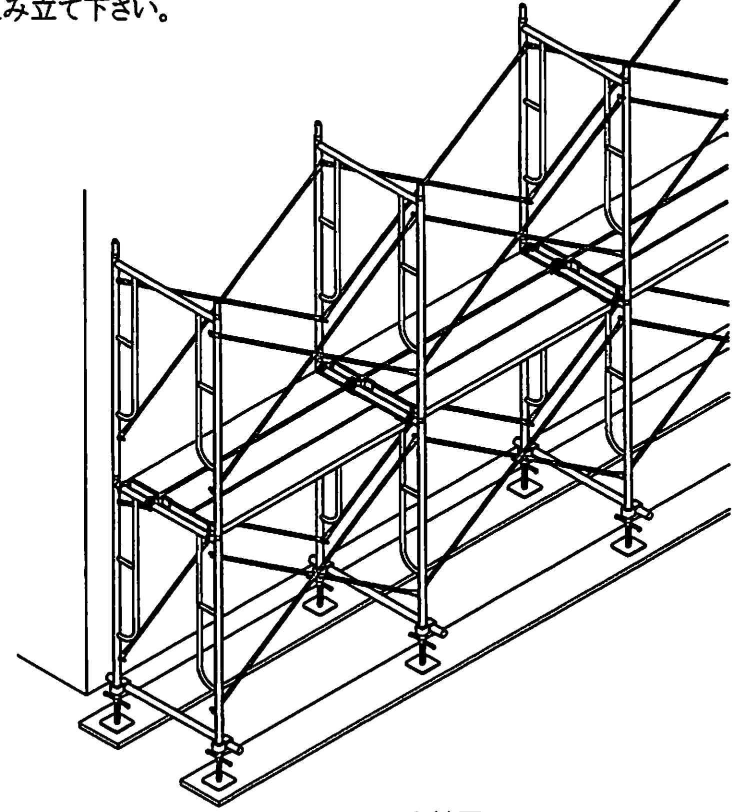
インチサイズ建枠用				メーターサイズ建枠用			
型　式	重量(kg)	L	L1	型　式	重量(kg)	L	L1
SGBT 12	2.24	1179	1149	SGT 12	2.21	1160	1130
SGBT 09	1.72	874	844	SGT 09	1.70	860	830
SGBT 06	1.20	570	540	SGT 06	1.19	560	530



3-取付要領及び解体要領

(1) 1層目及び2層目の枠組足場を設置して下さい。(取付図-1参照)

〔注-1〕 枠組足場は、(社)仮設工業会発刊の『基本部材で構成する・わく組足場の使用基準』を参照し、安全に組み立て下さい。

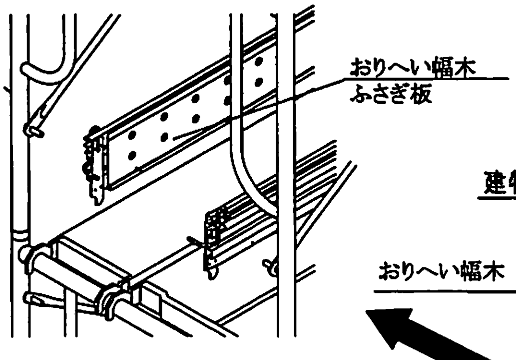


取付図-1

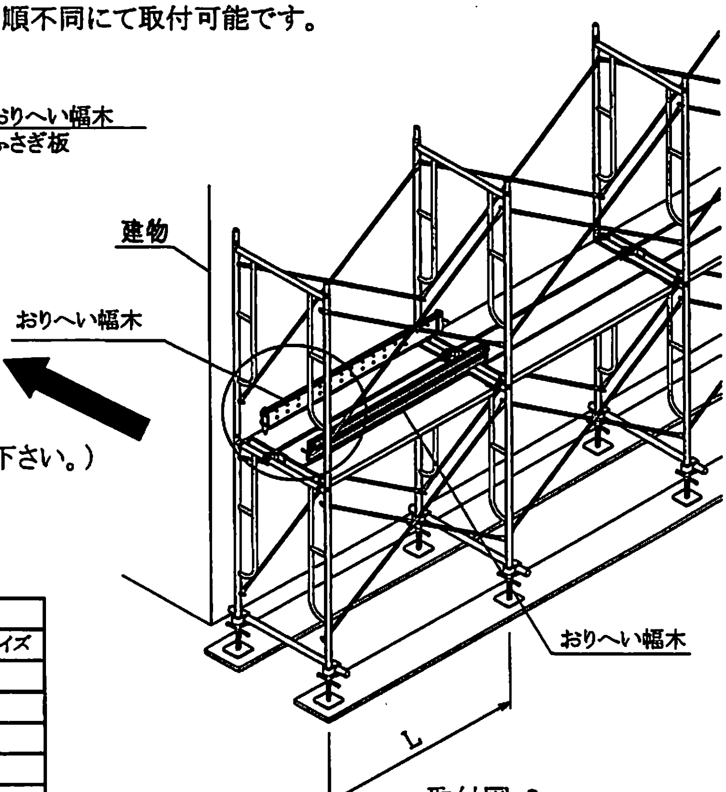
(2) おりへい幅木を枠組足場内の取り付け位置に持ち込み、設置の準備をして下さい。(取付図-2参照)

〔注-1〕 枠組足場スパンLに合わせたおりへい幅木を使用し、持ち込み時はおりへい幅木の向きに注意すること。(取付図-3参照)

〔注-2〕 枠組足場に取り付ける位置は、順不同にて取付可能です。



取付図-3
(ふさぎ板を内側に向けて搬入して下さい。)

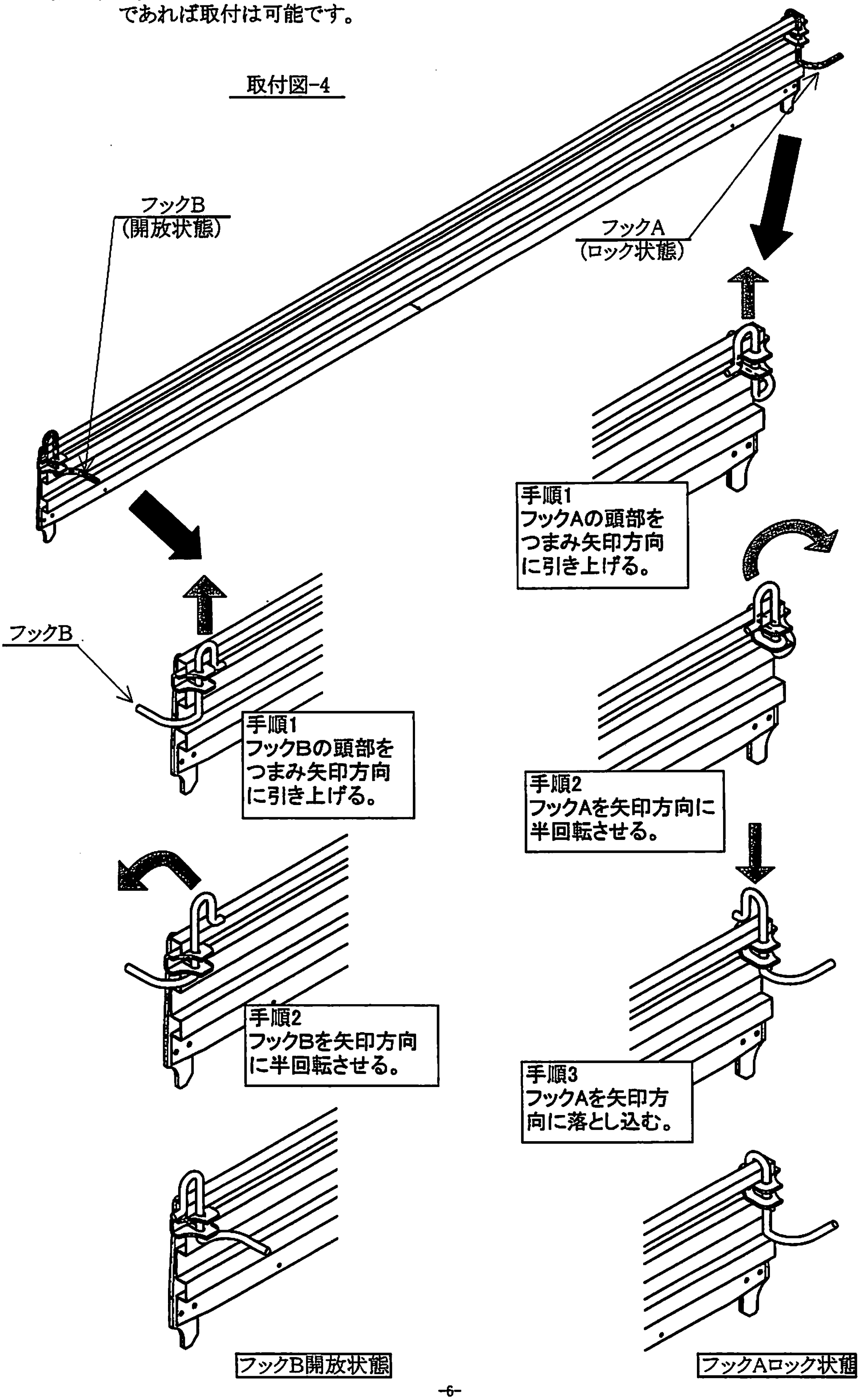


取付図-2

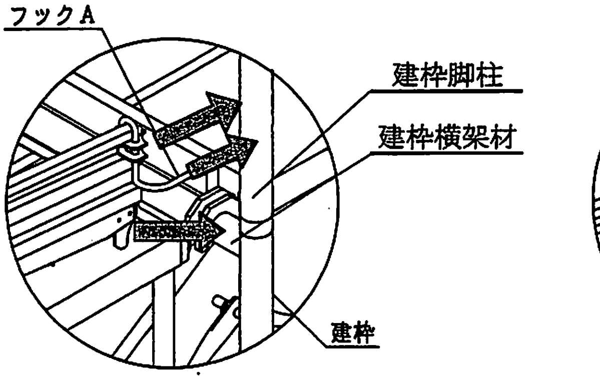
L	
インチサイズ	メーターサイズ
1829	1800
1524	1500
1219	1200
914	900
610	600

(3) おりへい幅木の両端部にあるフックA・Bを下記手順にて所定の位置にセットして下さい。
（取付図-4参照）
〔注-1〕フックA・Bの向きに関係なくどちらか一方のフックがロック状態でもう一方が開放状態であれば取付は可能です。

取付図-4

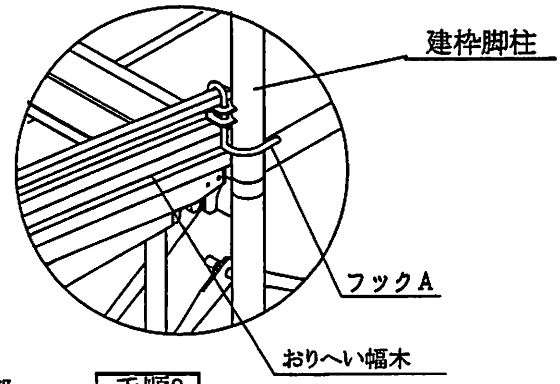


(4) 前項(3)の状態を保ちながら下記手順にて建枠間に落とし込み取付けて下さい。(取付図-5参照)



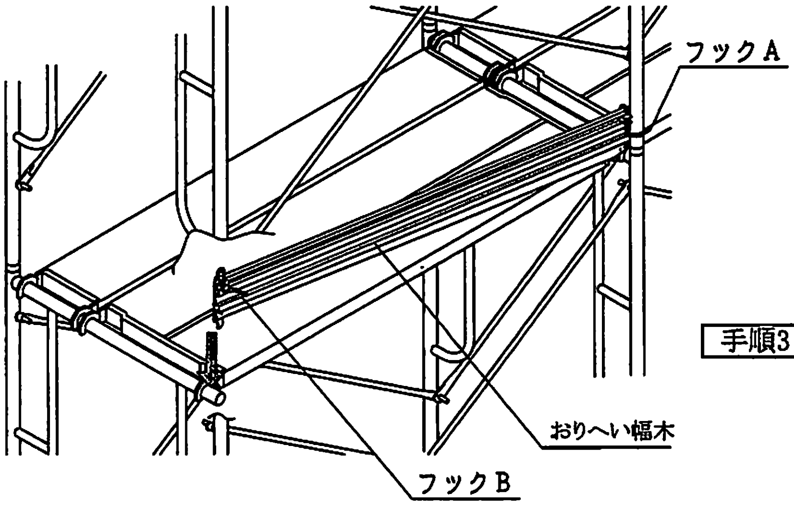
手順1 フックA側の金具を建枠横架材・脚柱部の指定箇所部(図中➡部)に差し込む。

〔注-1〕 フック部がロック状態になっている側を必ず先に取り付けて下さい。



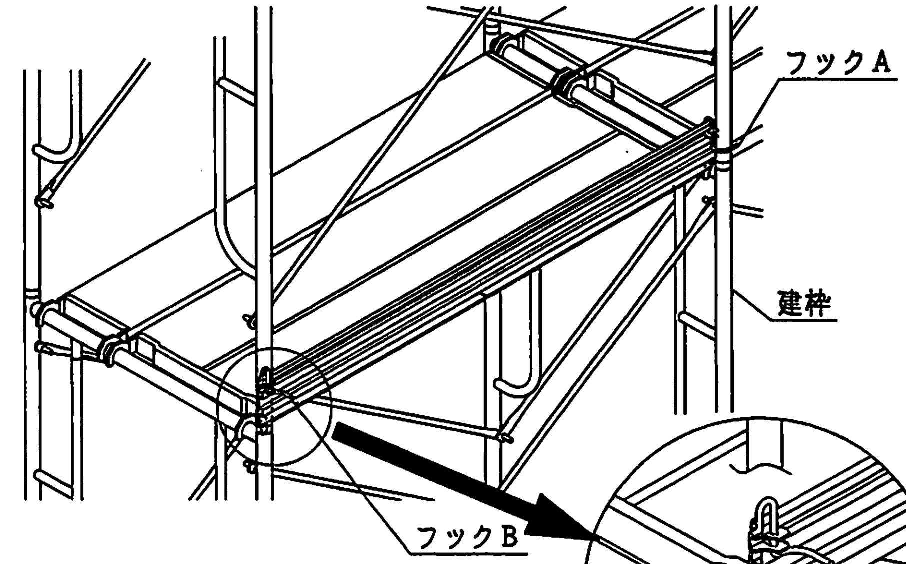
手順2

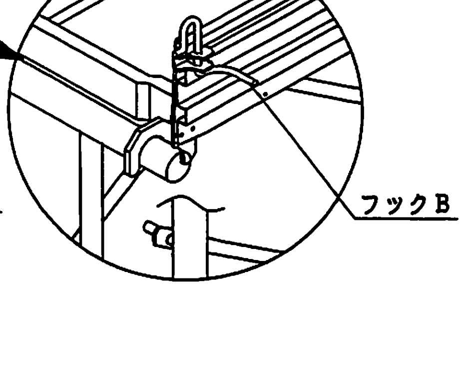
おりへい幅木の金具が建枠横架材・脚柱部の指定箇所に確実に差し込まれていることを確認して下さい。



手順3

フックB側を反対側の建枠横架材に(図中➡ 方向)落とし込んで下さい。



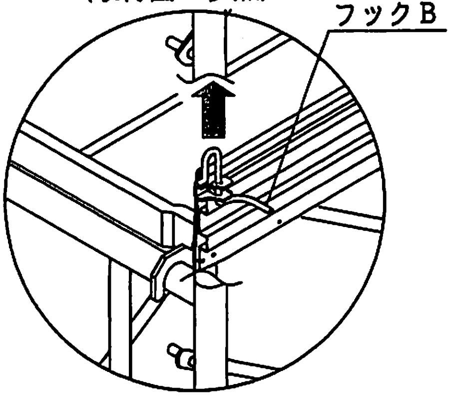


手順4

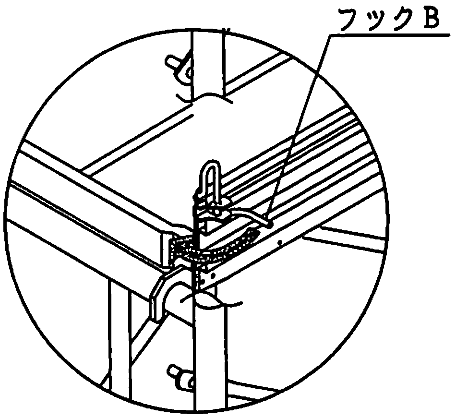
おりへい幅木の金具が建枠横架材部に確実に落とし込まれていることを確認して下さい。

取付図-5

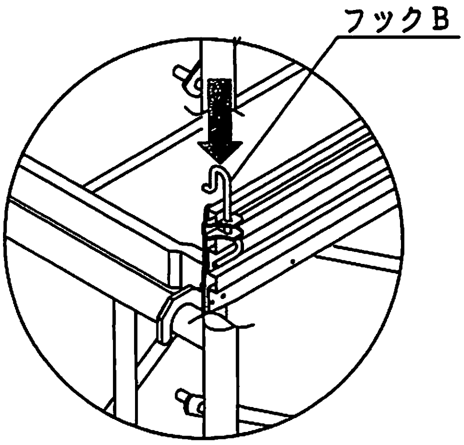
(5)フックB(開放状態)を、下記手順にて作動させ建枠におりへい幅木を固定して下さい。
(取付図-6参照)



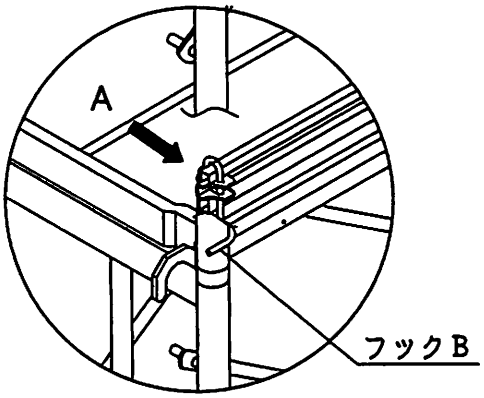
手順1
フックBの頭部をつまみ矢印方向に引き上げて下さい。



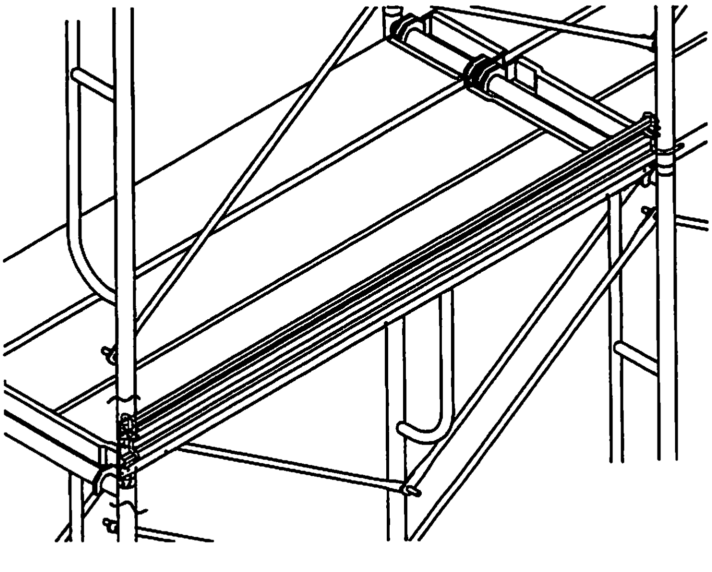
手順2
フックBを引き上げたまま矢印方向に半回転させて下さい。



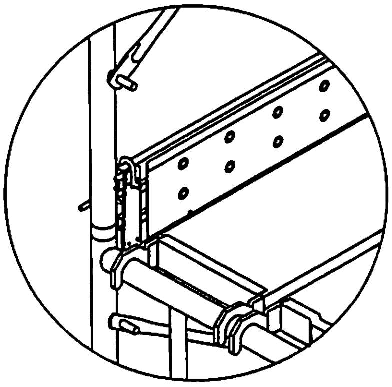
手順3
フックBを矢印方向に落とし込んで下さい。



手順4
フックBが所定(A矢視図参照)の位置にに有り、又、おりへい幅木が確実に固定されていることを確認して下さい。



取付図-6

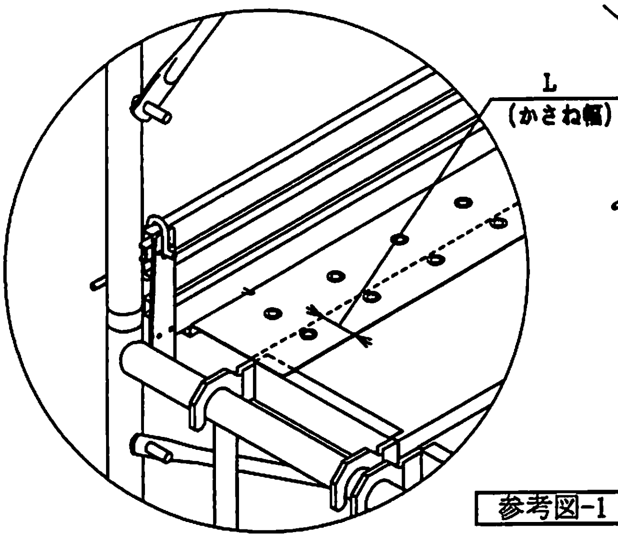


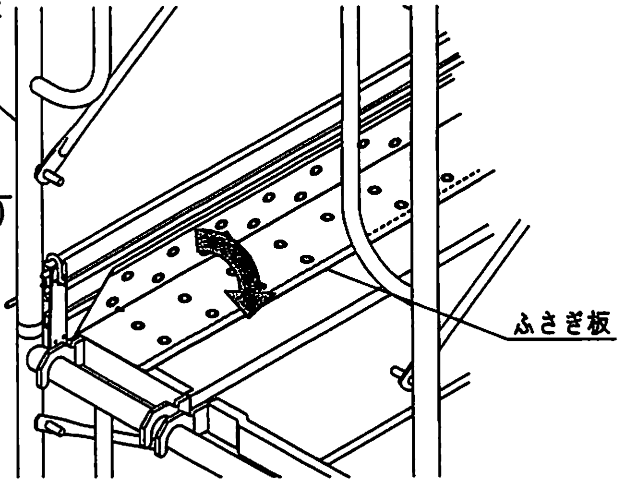
(A矢視図)

⚠ 警告	本項(5)が完了する前におりへい幅木の取り扱いを誤った場合、又は、フックA･Bの掛け忘れ、取付不具合等があった場合、おりへい幅木を落下させる恐れがあり非常に危険な状態が生じることが想定されます。取り扱いに十分注意して下さい。

(6) ふさぎ板を通路面(踏板上面)に寝かせてください。(取付図-7参照)

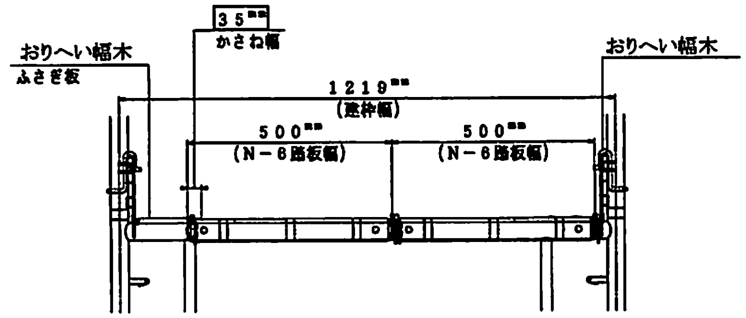
〔注-1〕　ふさぎ板と通路面(踏板上面)が重なっていることを確認して下さい。又、かさね幅(L)は20mm以上確保して下さい。(参考図-1・2・3・4参照)



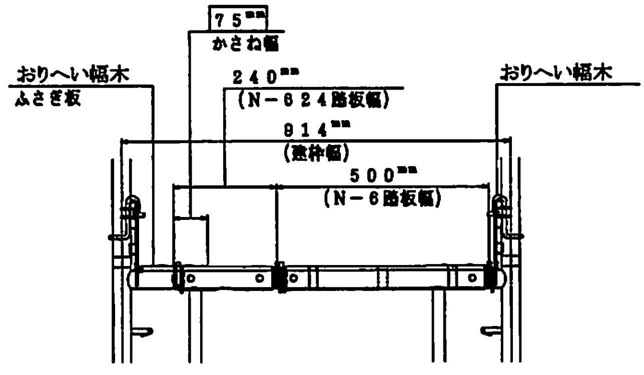


取付図-7

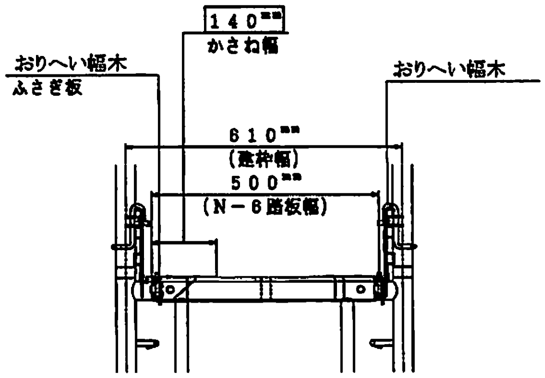
参考図-1



参考図-2　※・建枠幅1219^{mm}に踏板幅500^{mm}2枚と、おりへい幅木両側設置時のかさね幅＝L・・・35^{mm}(概略)

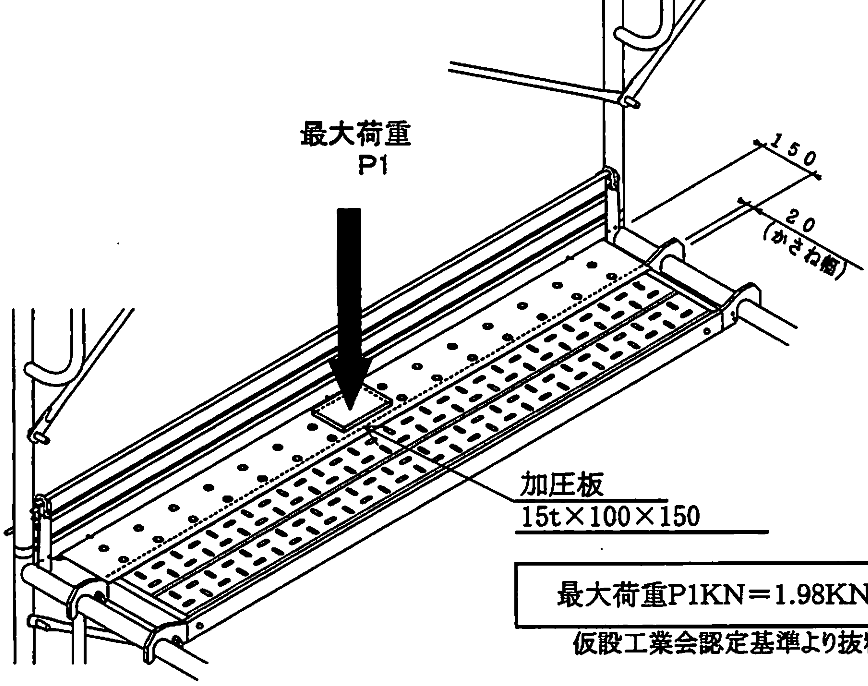


参考図-3　※・建枠幅914^{mm}に踏板幅500^{mm}・240^{mm}と、おりへい幅木両側設置時のかさね幅＝L・・・75^{mm}(概略)



参考図-4　※・建枠幅610^{mm}に踏板幅500^{mm}1枚と、おりへい幅木両側設置時のかさね幅＝L・・・140^{mm}(概略)

〔注-2〕　ふさぎ板は、下記内容(条件)にて踏み抜き強度試験を行っていますが
過度の荷重をかけないで下さい。

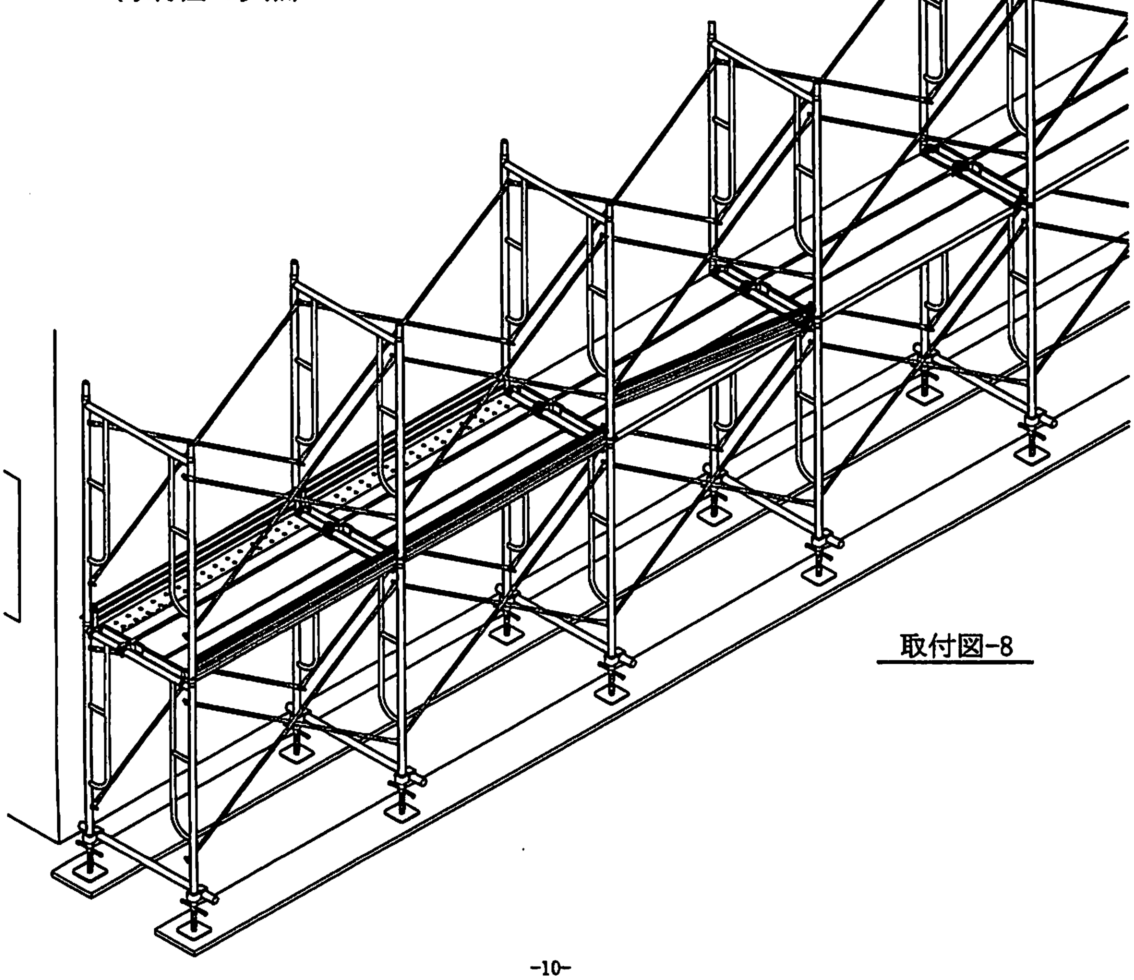


最大荷重P1KN＝1.98KN(202Kg)以上

仮設工業会認定基準より抜粋

⚠ 注意	ふさぎ板と踏板のかさね幅が少ないとふさぎ板が踏板から外れ隙間が発生し、物が落下したり、又、作業者がふさぎ板に乗った場合転落する様な危険な状態が生じることが想定されます。かさね幅を十分に取って使用して下さい。

(7) 以後前項(1)～(6)を繰り返し枠組足場全スパンに取り付けて下さい。
(取付図-8参照)

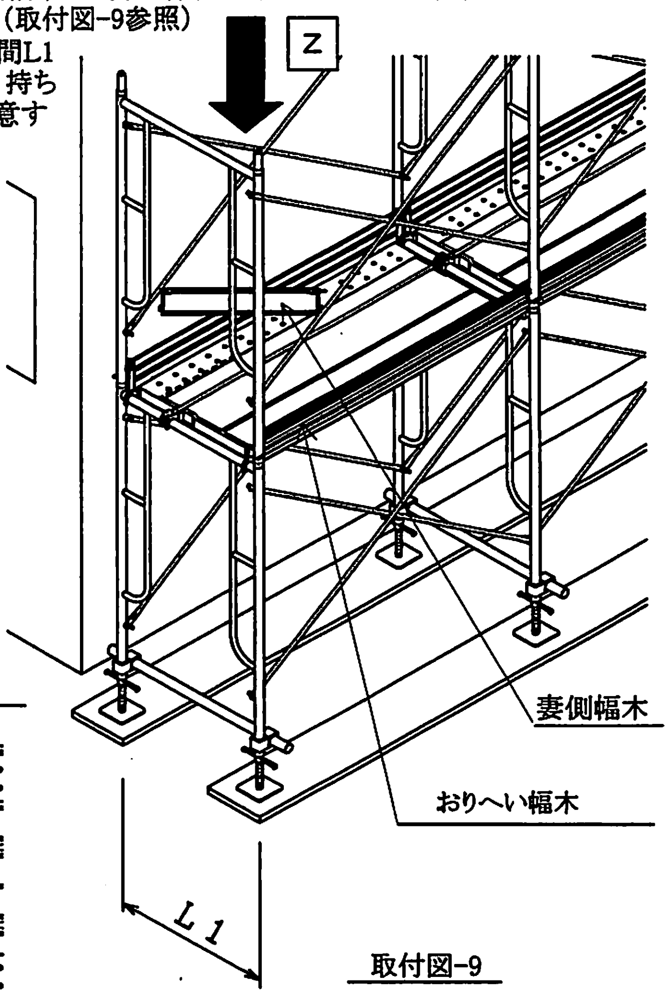


取付図-8

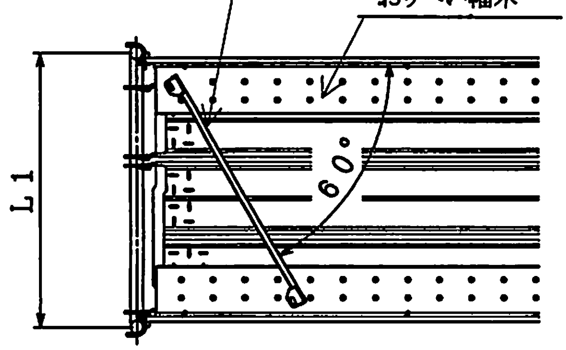
おりへい幅木専用妻側幅木取付要領　（オプション品）

(1) おりへい幅木専用妻側幅木（以後妻側幅木と云う）を枠組足場内の取り付け位置に持ち込み、設置の準備をして下さい。（取付図-9参照）

〔注-1〕 枠組足場に使用する建枠脚柱間L1に合わせた妻側幅木を使用し、持ち込み時は妻側幅木の向きに注意すること。（Z矢視図参照）



取付図-9

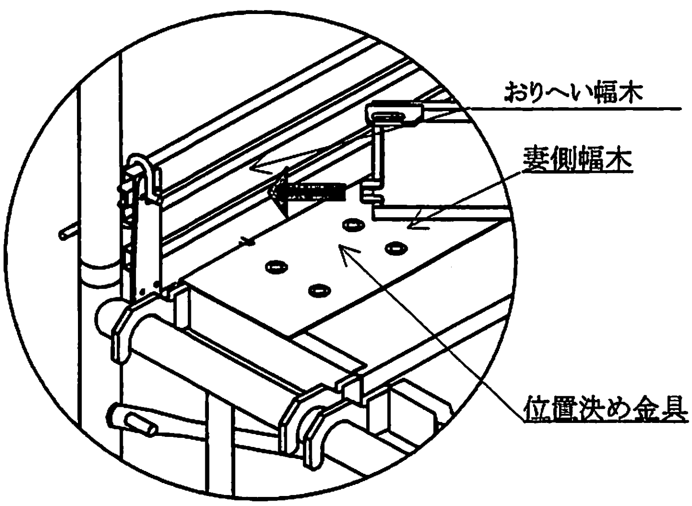


Z矢視図

妻側幅木を約60度傾けた状態で、両側のおりへい幅木間へ持ち込んで下さい。

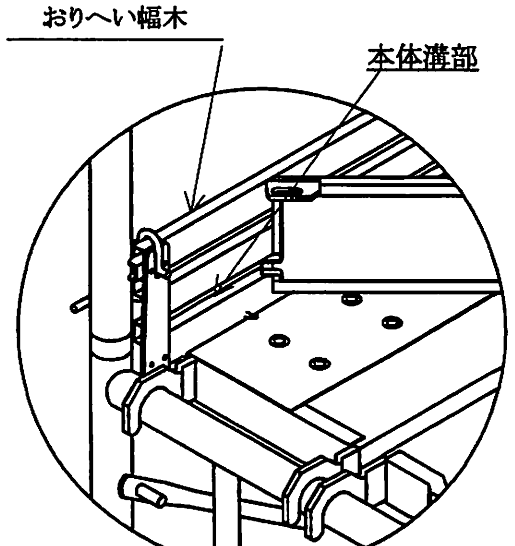
L1	
インチサイズ	メーターサイズ
1219	1200
914	900
610	600

(2) 下記手順にて両側のおりへい幅木に挟み込んで下さい。（取付図-10参照）



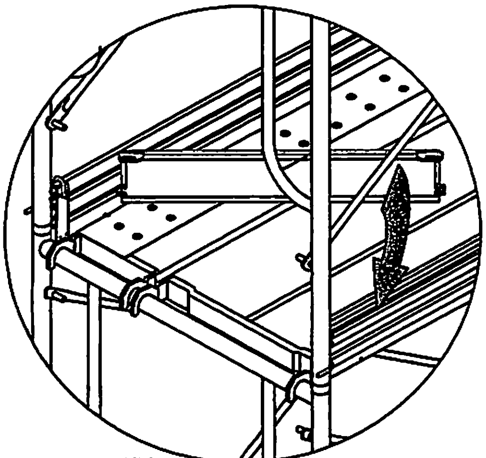
手順1

前項1の状態のまま妻側幅木を水平（図中⬅方向）に移動させて下さい。



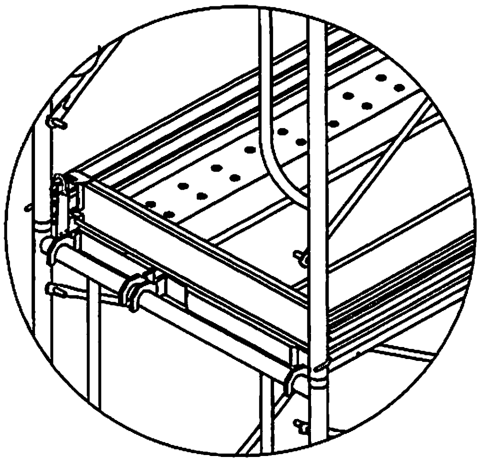
手順2

妻側幅木の位置決め金具がおりへい幅木本体の溝に挿入されていることを確認してください。



手順3

手順2の状態のまま妻側幅木を水平(図中 方向)に移動させて下さい。



手順4

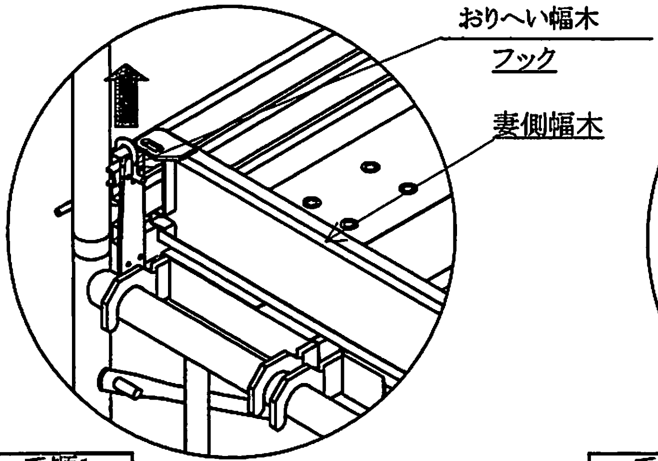
妻側幅木の位置決め金具が両側のおりへい幅木本体の溝に挿入されていることを確認して下さい。

取付図-10

(3)おりへい幅木のフックを下記手順にて動かし、妻側幅木を固定して下さい。(取付図-11参照)

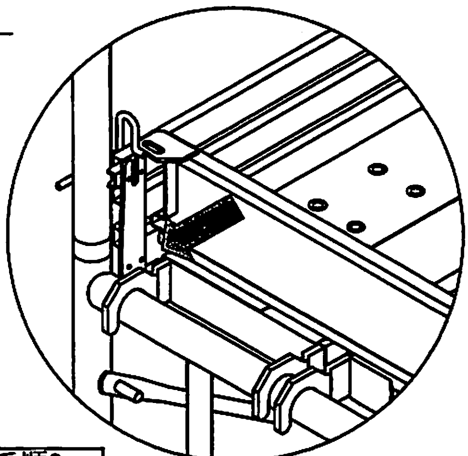
〔注-1〕　反対側も同様に行い、妻側幅木を固定して下さい。

〔注-2〕　作業完了後、おりへい幅木に妻側幅木が確実に固定されていることを確認して下さい。



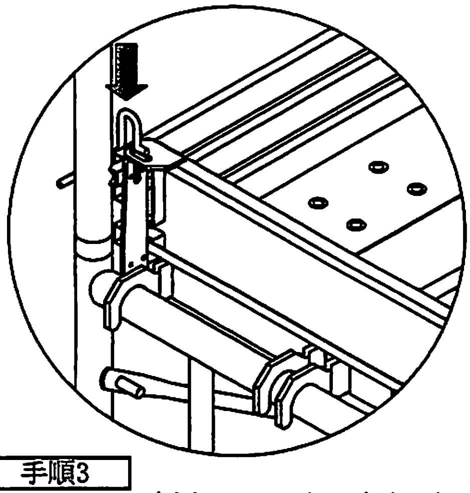
手順1

おりへい幅木のフックを上方(図中 方向)に移動させて下さい。



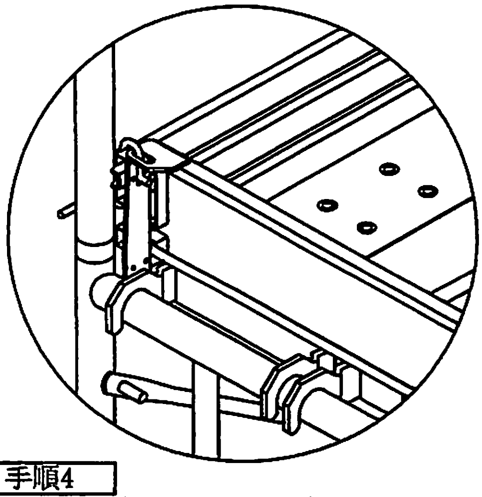
手順2

おりへい幅木のフックを持上げた状態のまま妻側幅木を水平(図中 方向)に移動させて下さい。



手順3

おりへい幅木のフックを下方(図中 方向)に移動させて、妻側幅木の長穴部に差し込んで下さい。



手順4

おりへい幅木のフックが妻側幅木の長穴部に挿入されていることを確認して下さい。

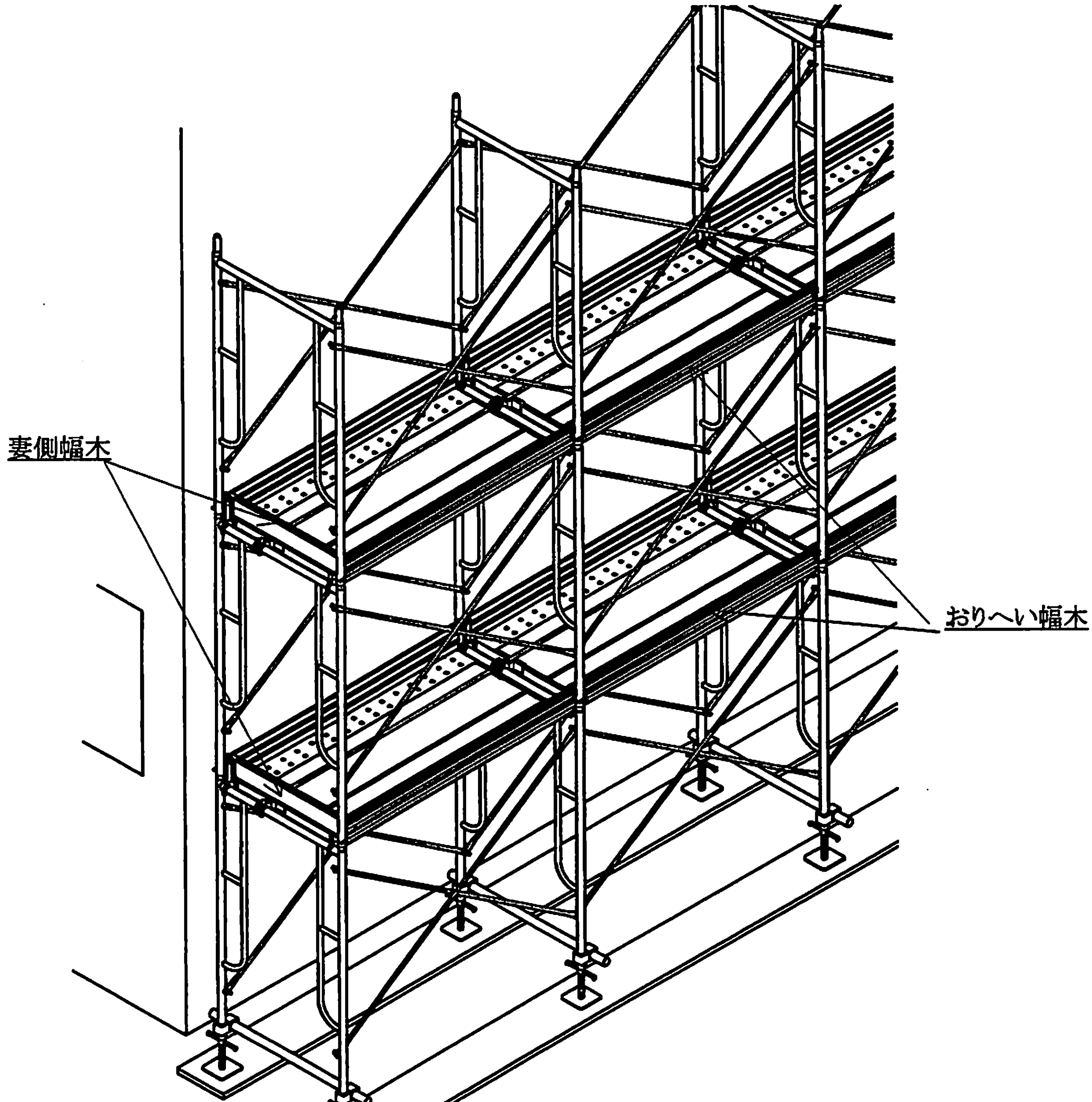
取付図-11

手順5

反対側も手順1～手順4を同様に行い妻側幅木を固定して下さい。

⚠ 警告	妻側幅木がおりへい幅木にて確実に固定されていない場合、妻側幅木が落下し、危険な状態が生じることが想定されます。おりへい幅木のフックが正規な位置にあるとともに損傷等のないことを確認し、十分に注意して取付けて下さい。

(4)以後前項(1)～(3)を繰り返し妻側幅木必要部に取り付けて下さい。(取付図-12参照)



取付図-12

解体要領

(1)おりへい幅木及び妻側幅木の解体要領は、前項の取付要領の逆の手順で行って下さい。

4-使用基準

(1) おりへい幅木及び妻側幅木を使用する場合は、労働安全衛生規則等に定める足場に関する規定によること。
(2) おりへい幅木及び妻側幅木の各部は、著しい損傷・変形又は腐食のないものを使用すること。
(3) おりへい幅木及び妻側幅木を設置する際に、これを落下させないように注意すること。
(4) おりへい幅木及び妻側幅木の固定用フックA・Bが正常に機能していることを確認すること。
(5) 使用禁止事項
1・おりへい幅木及び妻側幅木には、材料等を立てかけたり、仮置き等をしないこと。
2・おりへい幅木及び妻側幅木には、乗らないこと。
(6) 保守管理
1・使用前点検
a) 使用する前に各部を点検し、異常のないことを確認する。
b) 各部に曲がり・損傷・腐食等の異常のあるものは、適正に整備・修理等を行う。

5-取付後の点検

(1) 取付後の点検
おりへい幅木及び妻側幅木、取付後に次の各項目について点検を行って下さい。
なお、点検で異常が発見された箇所は、速やかに適切な措置を講じて下さい。

おりへい幅木			
工事名		点検日 時間	年 月 日( ) 時 分~ 時 分
作業所			
工区		点検者	

点検箇所	点検項目	判定・処理		
		良	否	対策
おりへい幅木	・使用機材に曲がり・損傷等のない正常な機材を使用しているか。			
	・正規な位置に使用されているか。(向き・上下関係等含む)			
	・建枠等とのガタが、異常に大きくないか。			
	・ふさぎ板と踏板のかさね幅は指定長さ以上あるか。			
	・固定金具部は正規の取付方になっているか。			
妻側幅木	・使用機材に曲がり・損傷等のない正常な機材を使用しているか。			
	・正規な位置に使用されているか。(向き・上下関係等含む)			
	・おりへい幅木とのガタが、異常に大きくないか。			
全体	・枠組足場との関係に異常はないか			
特記事項				

(2) 定期点検及び臨時点検
1ー全体チェック及び各接合部の緩み等については、定期的にチェックを行って下さい。
2ー現地に、強風・大雨・大雪・地震その他の異常が発生した後には、(事前に予測可能な場合はその前にも行う)枠組足場と同時に臨時点検を行って下さい。特に、各接合部の異常等に注意して下さい。

6-警告

労働災害や墜落事故をおこさないため、下記の事項を必ず守って下さい。

- ◆ 組立解体は、本文『3、取付要領及び解体要領』に従って、行って下さい。
- ◆ 積載等に関することは、本文『4、使用基準』に従って、行って下さい。
- ◆ 特殊な用途や組立等により使用する場合には、事前に当社にご相談下さい。
- ◆ 悪天候等のため、危険が予想される場合には、直ちに作業を中止して下さい。
- ◆ 機材に放り投げる等の衝撃を与えたり、傷をつけたりしない様丁寧に扱って下さい。
- ◆ 取付ける機材は、適正に管理、整備等されたものを使用し、異常のあるものは使用しないで下さい。

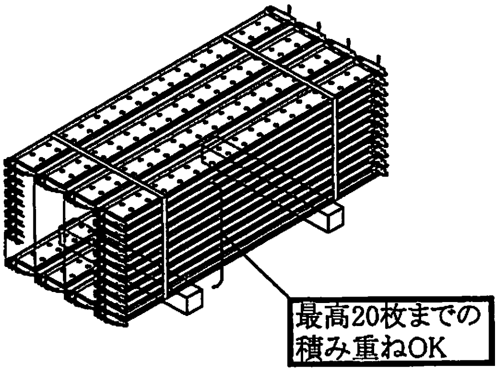
⚠ 警告

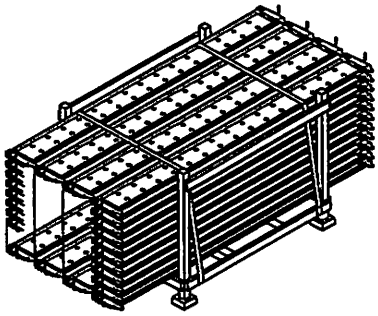
7-保管及び保守管理

(1) 保管

① 保管場所は、出来るだけ屋根のある場所として下さい。なお、野積みする場合シート等で覆い、雨等が直接かからないようにして下さい。また、保管場所の地面は、舗装等により水はけの良い状態にして下さい。

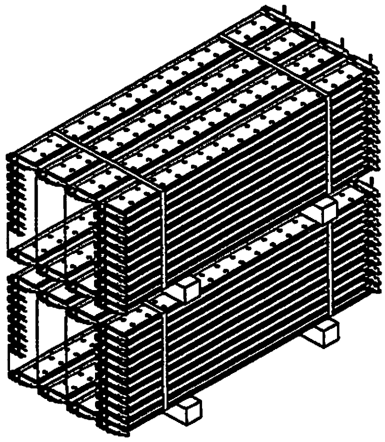
② 機材の保管は、梱包を行って木材等の上に載せるか、パレット等を利用して行い、直置きしない様にして下さい。（下図参照）



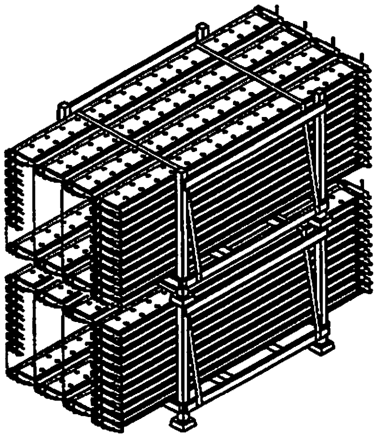


（おりへい幅木専用パレットも御用意できます。）

③ 積み上げる場合は、パレット等を利用して行い、直置きしない様にして下さい。又、製品の曲がり、変形等の原因になるような重量物を製品の上に載せて保管しないで下さい。(下図参照)



NG



OK

(2) 保守管理

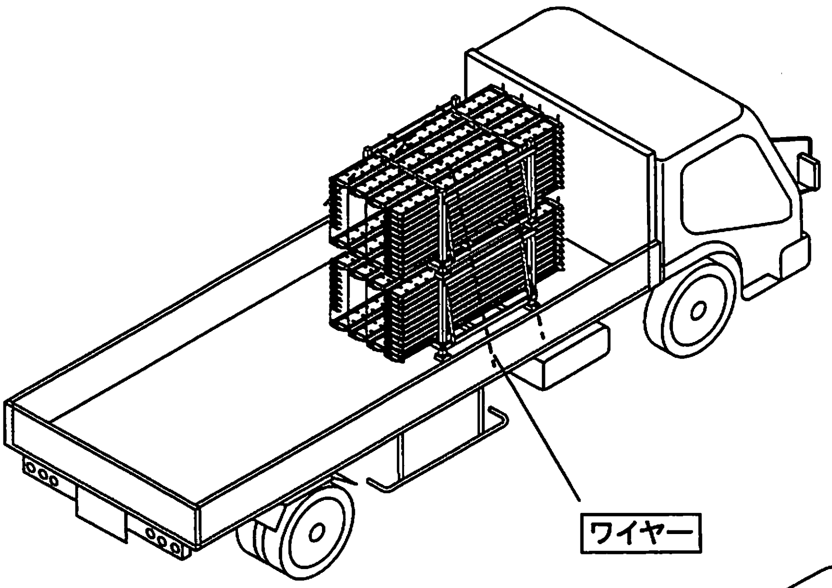
① 機材の保守管理は、仮設機材管理者講習会の修了者のもと、(社)仮設工業会発行の『経年仮設機材の管理に関する技術基準』を参照の上、適正な管理を行って下さい。

② 点検管理を行い、各部に異常のないことを確かめて下さい。尚、異常のある場合は、メーカーに相談の上、修理して下さい。

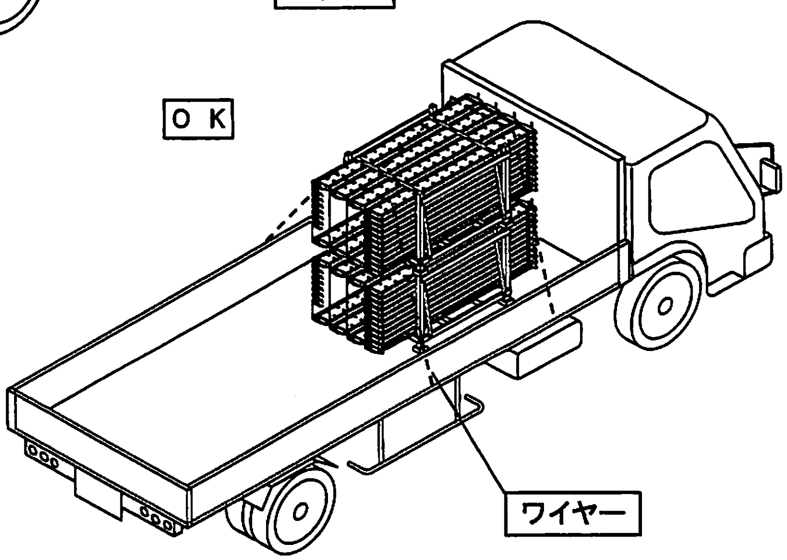
8-運搬管理

① トラックによるおりへい幅木運搬時の荷崩れ防止用ワイヤー及びロープ等は、直接おりへい幅木に掛けないで下さい。

② 積み上げる場合は、パレット等を利用して行って下さい。 又、製品の曲がり、変形等の原因になるような重量物を製品の上に載せて運搬 しないで下さい。



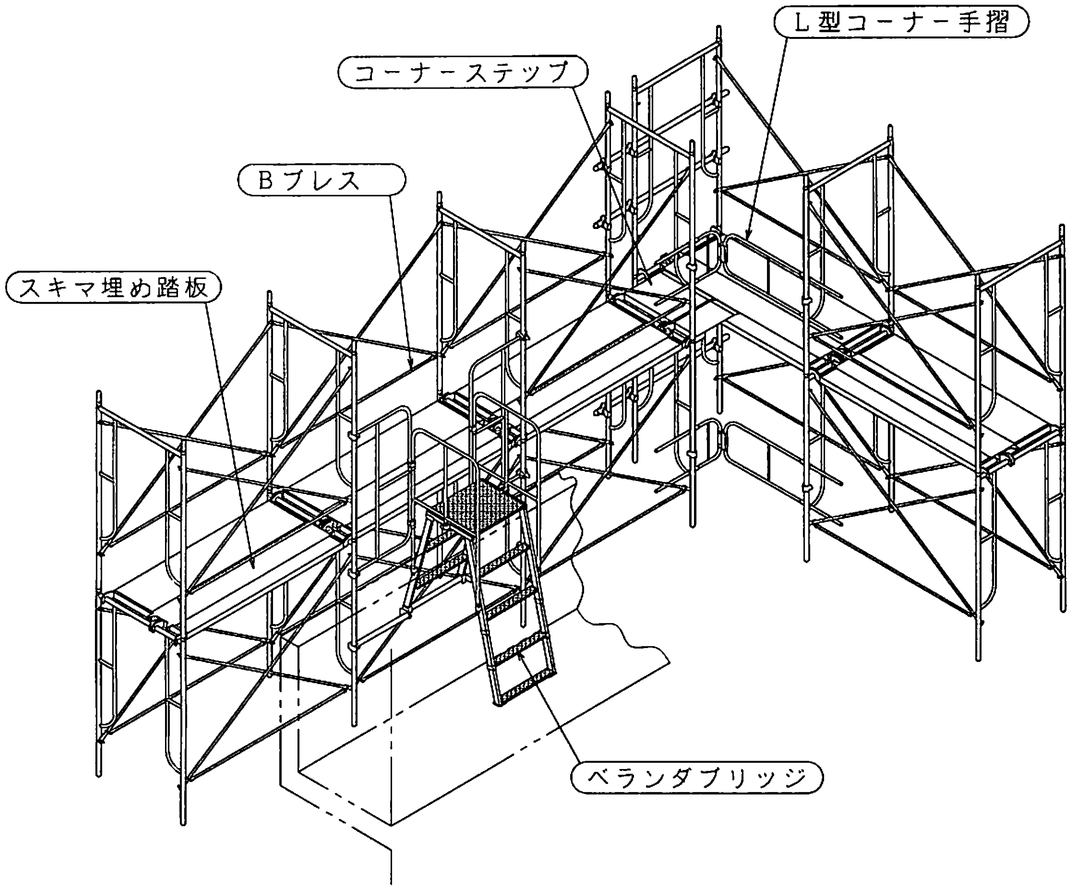
O K



N G

◆ シンニッタンの枠組足場用安全部材 ◆

枠組足場における作業の
安全性向上に貢献します。



2011－2

お問い合わせ先

SNT SHINNITTAN

仮設工業会会員
株式会社シンニッタン

本　社　〒210－0014
建機販売部　神奈川県川崎市川崎区貝塚１丁目１３番１号（ＳＮＴビル）
【電話】０４４－２００－７８３１　【ＦＡＸ】０４４－２００－７８３０

リース営業部　【電話】０４４－２００－７８３２　【ＦＡＸ】０４４－２００－７８３５

〒561－0894
大阪営業所　大阪府豊中市勝部２丁目１８番１１号
【電話】０６－６８５７－３３８０　【ＦＡＸ】０６－６８５７－３７７３